

ローズライフ

Rose Life Vol.21
秋 2014

発行 京阪ライフサポート株式会社 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町14番10号 京阪くずは駅ビル南館3F 電話072-8680331



私は七人兄弟の真ん中で、昔から何でも自分でする子どもでした。欲しいものがあつたら、縫い物仕事をしておこずかいを稼いで自分で買うの。働くのが好きだったから、ひとりで旧満州の奉天^{ほうてん}に行つて税関で働いたり、住み込みで大阪の薬品問屋で働いたり、その後は大阪で事業をはじめました。ずっと仕事をしてきましたけれど、趣味もいろいろ。日本舞踊もしますし、手芸も好きでベッドカバーを編んだりね。

三十三歳の時から始めたゴルフはハンディ八。アマチュアの日本代表に選ばれて海外の大会に参加したこともあるんですよ。いまでもラウンドしています。ゴルフをするときは、みんなよりスカツとしていたから、

ウエアは赤。赤が大好きで私のテーマカラーなんです。人様に迷惑をかけず、自分のことは自分でという生き方をしてきました。でも、自分のことだけ考えていてはダメ。相手のために心を尽くすことが一番大切です。波と同じで、相手に尽くせば、それが波のように自分に返ってきます。いろんなことがありましたが、すべては人生の恵み。苦労だと思つたことはありません。



「人生に悔いなし」、そう言える自分を誇りに思っています。

ローズライフインタビュー

中田のぶるさん

93歳
(大正10年生まれ)
平成25年入居

主に帯地に用いる綴織は、日本が世界に誇る絹織物です。明治の時代、その可能性を室内装飾という領域に広げ、現在の私たちの暮らしの礎を作った川島甚兵衛。その足跡と日本様式の室内装飾を知るために、株式会社川島織物セルコン・織物文化館をたずね、館長の松村隆史さんにご案内いただきました。

綴織る室内装飾。

KEIHAN 京阪ライフサポート

綴織「百菊」屏風原画(絹本着色)

西大路五条すぐ、京都市立病院北隣に11月 新築OPEN!

「新しい介護付住宅」ローズライフ京都



ローズライフ 検索 0120-381-602 (9~18時)

建物完成予想図

ローズライフくずは

常に介護を必要とされる方に...

ホーム見学会 10/25④ 11/16④ 29④ 12:30-

0120-877-602 大阪府枚方市 楠葉朝日1丁目2番5号

ローズライフ高の原

自立した生活をお過ごしの方に...

ホーム見学会 10/18④ 11/9④ 22④ 11:00-

0120-716-602 京都府木津川市 相楽台9丁目1番地5

日本様式の室内装飾に挑んだ川島織物 綴織で魅せる美術織物の世界

川島織物は室町の呉服商から出発し織物業に転身します。身を飾る織物だけでなく、室内装飾の世界への可能性を広げたのは二代川島甚兵衛の頃。日本の近代化が進む明治二十年代のことです。

二代甚兵衛は、ヨーロッパで壁や窓辺を織物で飾る室内装飾という文化に出会い、その迫力に圧倒されます。フランスのゴブラン織に触発され、日本の綴織の技術で、日本の建築様式に合った室内装飾のあり方を模索しはじめました。自宅の敷地内に、室内すべてを染織品で装飾した日本初のシヨールーム「織物参考館」を造り、また世界各国の万国博覧会に、日本美術の特色を生かした作品



①

を出品し高い評価を得ます。明治二十四年には、国内企業初の宮内省御用達となり、皇室や宮中のさまざまな装飾を手がけることとなります。



③



②

果てしない織物語、 経糸と緯糸が創り出す精緻な美



④

綴織は織下絵がとても重要です。織下に経糸の下に敷き、経糸のすき間から見える織下絵どおりに織り進めます。絵画をタピストリーにする場合も、その表現力を高めるため非常に精密。しかも美術織物には絵画の美しさとともに、織物としての完成度を高める工芸デザイン、室内装飾としてのコーディネートなど、さまざまな知恵や技術が盛り込まれています。

この技術は綴帳のような、より大きなものを作る際にも生かされます。綴帳の場合、二十分の一の原画を使用しますが、少しのひずみでも拡大されるため、それが出ないように調整するのも職人の技。色の濃淡やぼかし、立体感を生み出すには、機械では決してできない手織の技術が必要なのです。



織物文化館館長
松村隆史さん

天平の昔から、織物は糸の撚り方、経糸と緯糸の組み合わせなど、果てしない工夫が重ねられ今に至っています。織物文化館の展示品を通して織物の歴史を知っていただくとともに、甚兵衛が目指した装飾の豊かさ、大きいものが持つ力を感じていただければと思います。

ローズライフくずはと、高の原のラウンジには川島織物セルコン製作のタピストリーがあり、今秋オープンするローズライフ京都にも納入される予定です。フック織りという手織綴帳の手法で製作され、ホームを象徴するタピストリーとして存在感を放っています。

織物文化館

染織品約8万点、古書約2万点、創業以来の原画や織下絵、試織裂など約6万点を所蔵。
TEL:075-741-4120 京都市左京区静海市原町265 株式会社川島織物セルコン内
京都市営地下鉄「国際会館」より、京都バス(52系統)で「小町寺」下車、徒歩約5分
叡山電車「市原」下車、徒歩約7分
開館日：午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで) ※要見学予約
休館日：土曜日・日曜日・祝日、ゴールデンウィーク・夏季・年末年始など同社休業日

①明治22(1889)年 京都三条高倉に甚兵衛が建設した川島織物参考館 ②難波津(なにわづ) 室内装飾用裂地原画/明治35(1902)年
③大正2(1913)年 オランダ・ハーグ平和宮殿に納入され壁面を飾る綴織 ④幅24メートルの織り機で、職人の手によって織られる綴織

いきいき コラム

21

暮らしの点検

便利グッズを備えておけば
もっとラクに、快適に
お出かけが楽しめます。

気候が良くなりお出かけの機会が増える季節になりました。でも、足腰が弱るとつい外出を敬遠しがちです。そんな方には、ステッキ感覚で持つ杖をおすすめします。今日はたくさん歩くかもしれないと思ったら、杖を持つていくといいですね。杖を持つと歩行時のバランスがよくなり、杖を振り出す動作が推進力を生み、歩きやすくなります。さらに体重が分散されて体への負担も軽減します。

ただ、杖を持つていると何かの動作をする際に置き場所に困ることがあります。そんな時のために、あらかじめステッキホルダーや手首にかけるループを付けておけば問題解決です。さらに杖先カバーがあれば、外で使った杖の汚れを気にせずに屋内でも使うことができ、便利です。杖は年齢を感じさせると思う方がいらっしゃるかもしれませんが、これ



京阪ライフサポート株式会社
ローズライフ事業部 しょうはな え
ケア事業部 次長 眞藤英恵
理学療法士。病院、在宅訪問で高齢者ケアと健康増進に携わり、2003年入社。現在に至る。

に頼って歩くのではなく、おしゃれアイテムとして使いこなしてみませんか。最近は種類もデザインも豊富に販売されていますから、洋服に合わせて選ぶのも楽しいですよ。

もうひとつのおすすめは丈の長い靴べらです。かがみ込まず立ったまま使えるので、かかとの履き込みの手間取ることもなく、ラクに靴が履けます。外出先では携帯用の靴べらも持っているとお重宝します。

体をいたわる便利グッズを上手に利用して、ぜひ快適なお出かけを楽しんでみてください。

京のお菓子歳時記「秋」

社寺の紋を表した神仏に捧げるお菓子 御紋菓(押し物・落雁)

京菓子は多くの社寺のもとで育まれ、三百年近い歴史を重ねる笹屋伊織も、社寺御用達として神仏に捧げる御紋菓をお作りしてきました。年代を経たさまざまな御紋菓用の木型を用い、秋の豊作を願って納める御紋菓。これらは非売品ですが、私どもの仕事の一端としてご紹介させていただきました。(文 十代目女将)



創業享保元年 京菓子司 笹屋伊織
京都市南区吉祥院池田町35 TEL.075-692-3622
※本店改装中のため、上記の本社・南店にて営業中。

高の原 お店探索

のどかな田園風景のなか、五感で楽しむ。 ナチュラルフレンチビストロ・ヨシムラ

予約必須の人気店ビストロ・ヨシムラは、オーナーシェフが自家菜園で作るハーブや有機野菜を使ったメニューが話題。素材を生かし、さりげなく和の感性を盛り込んだ料理は、どれも繊細で奥深い味わいです。秋には地元産の無花果やかぼちゃ、さつま芋を使ったお料理がオススメで、食後にはノーベル賞晩餐会で出される極上の紅茶・セーデルブレンドもぜひ!



京都府木津川市相楽新堂前5-2 TEL.0774-46-9900
ランチ / 11:30 ~ 14:00
ディナー / 18:00 ~ 21:30 (ラストオーダー / 21:00)
定休日: 月曜日、第2火曜日